

2027 年度 大学院入試案内
東京大学大学院工学系研究科
社会基盤学専攻

〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学大学院工学系研究科 社会基盤学専攻

大学院入試担当チーム

E-mail: gsao@civil.t.u-tokyo.ac.jp

社会基盤学専攻 入試情報ページ:

https://www.civil.t.u-tokyo.ac.jp/graduate_school/

社会基盤学専攻では、2027 年度大学院入試（2026 年夏実施）から、試験科目「社会基盤学」の実施方法が大きく変わります。入試案内書をよく読んで、準備を進めてください。

2027年度 大学院入試案内 東京大学大学院工学系研究科 社会基盤学専攻 修士課程

はじめに

本専攻の入学選抜に関する基本事項（出願資格、出願方法、募集人員、提出書類、合格発表および入学手続き等）については、**2027年度 東京大学大学院工学系研究科 修士課程 学生募集要項**（以下、「**工学系研究科 学生募集要項**」とする）に基づくものとする。本案内は、これらを前提として、社会基盤学専攻における選抜方法、試験の実施日程および試験内容等について、より具体的に記すものである。

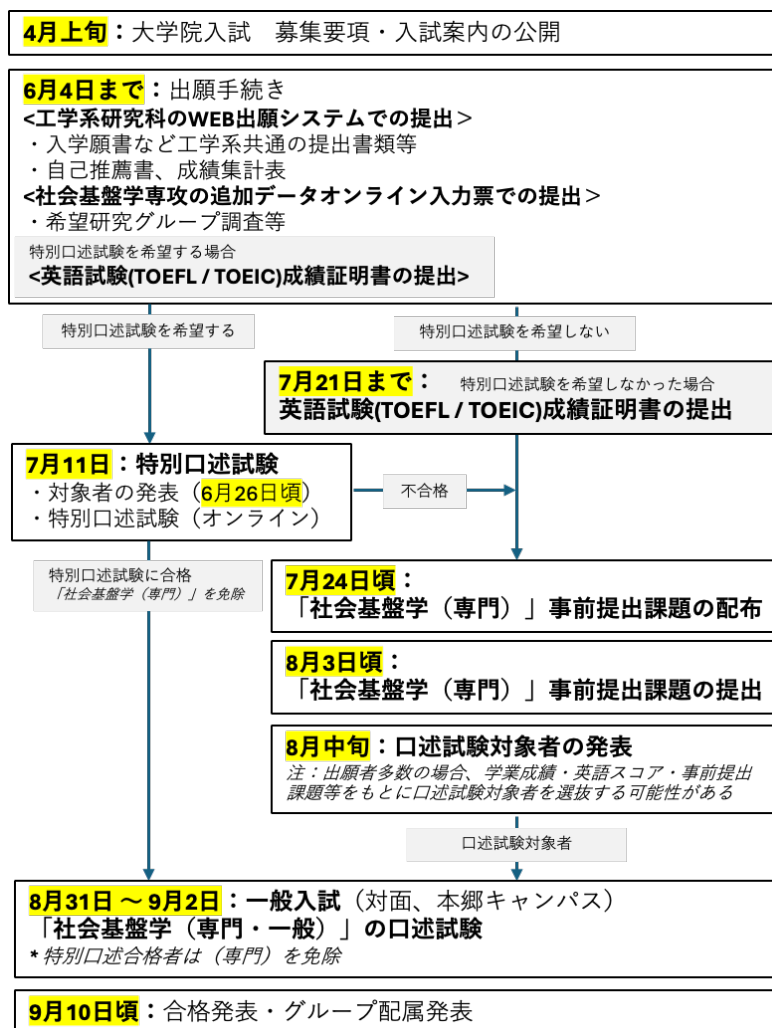
本専攻の入学選抜に関する連絡は、社会基盤学専攻ウェブページ (<https://www.civil.t.u-tokyo.ac.jp/>) または受験生へのメール等で通知されるため、必ず随時確認すること。不明な点がある場合は、メールにて下記まで問い合わせること。

東京大学大学院工学系研究科 社会基盤学専攻
入試担当チーム：gsao@civil.t.u-tokyo.ac.jp

以下の説明を注意深く読み、出願および試験の準備を進めること。

1. 選抜方法と日程

本専攻では、7月に実施する**特別口述試験**と、8月下旬に実施する**一般入試（口述試験）**の2段階で選抜を行う。本専攻における大学院入試（修士課程）のスケジュール概要を以下の図に示す。本案内では、特に断りのない限り、日付は2026年（入試実施年）を指す。



図：大学院入試（修士課程）のスケジュール概要

受験を希望する者は、**工学系研究科 学生募集要項**に定める**出願期日（2026年6月4日）**までに、所定の書類をそろえて出願するものとする。

修士課程の入学選抜は、英語試験、書類選考および口述試験の結果を総合して判定する。**英語試験については各自で受験し、所定の期日までに英語試験の公式スコアを提出するものとする。**

社会基盤学専攻では、学業成績が特に優秀な学生を対象として、**特別口述試験**を実施する。特別口述試験を希望する者は、出願時に英語試験スコアを含む所定の書類を提出し、書類選考を受けるものとする。書類選考を通過した者に対し、**7月11日に特別口述試験（オンライン）を行う**。特別口述試験に合格した者については、8月下旬の一般入試で実施する口述試験における「**社会基盤学（専門）**」を免除する。

特別口述試験を希望しない者、および特別口述試験に不合格となった者は、8月下旬の一般入試にて選抜する。一般入試に先立ち、7月24日頃に配布される予定の「**社会基盤学（専門）**」の**事前提出課題**に取り組み、8月3日頃に予定される期限までに提出するものとする。

一般入試の口述試験は、8月31日から9月2日にかけて、本郷キャンパスにおいて対面で実施する。口述試験では、「**社会基盤学（専門）**」および「**社会基盤学（一般）**」について試問を行う。ただし、特別口述試験に合格した者については、前述のとおり「**社会基盤学（専門）**」を免除する。

入学試験の可否は、9月10日頃に発表する予定である。

なお、社会基盤学専攻においては、出願日程Bによる選抜は実施しない。

2. 入学願書と必要書類の提出

2.1 必要書類と提出先

受験を希望する者は、**工学系研究科 学生募集要項**に従い、入学願書を含む所定の「**提出書類等**」を、「**工学系研究科のWEB出願システム**」を通じて提出すること。

これに加えて、社会基盤学専攻の受験にあたっては、以下の書類および情報の提出を要する。提出方法および提出期限は項目ごとに異なるため、各項の指示を十分に確認すること。

①自己推薦書

現在の学修・研究内容を踏まえ、修士課程において取り組みたい研究内容および将来の展望等について記載した「**自己推薦書**」を提出すること。様式は社会基盤学専攻ウェブページからダウンロードすること。

本書類は社会基盤学専攻独自の提出書類であるが、**工学系研究科のWEB出願システム**を通じて提出するものとする。

②成績集計表

社会基盤学専攻ウェブページから「**成績集計表**」をダウンロードし、入力要領に従って学業成績を集計のうえ提出すること。本書類は社会基盤学専攻独自の提出書類であるが、**工学系研究科のWEB出願システム**を通じて提出するものとする。

③希望する指導教員グループ

社会基盤学専攻では、研究分野の近い複数の教員で構成される単位を「**指導教員グループ**」と呼ぶ。修士課程の学生は、入学後、いずれかの指導教員グループに配属され、当該グループに属する教員のもとで研究指導を受ける。

入学後に配属を希望する指導教員グループを、**別紙1「社会基盤学専攻指導教員・研究内容一覧表**」から選択すること。希望する指導教員グループは、第1希望から順位を付して、重複のないように届け出るものとする。必ずしもすべての指導教員グループについて希望順位を入力する必要はない。**ただし、希望順位を入力した指導教員グループのいずれにも配属できない場合には、不合格となることがあるので注意すること。**

配属方法の詳細については、「**5. 合格発表・指導教員グループへの配属**」を参照すること。

希望する指導教員グループは、後述する「**追加データオンライン入力票（修士課程）**」を通じてオンライン提出するものとする。

④ 英語能力試験の成績証明書

英語能力は、受験者が提出する **TOEFL iBT** または **TOEIC L&R** の「英語能力試験の成績証明書」で評価する。

英語能力試験の成績証明書の提出期限は、特別口述試験を希望するか否かによって異なる。

- ・特別口述試験を希望する者は、6月4日 15:00 までに提出すること。
- ・特別口述試験を希望しない者は、本専攻が指定する期日（7月21日 15:00）までに提出すること。

TOEFL iBT 公式スコアを用いる場合は、工学系研究科の **WEB 出願システム** を通じて提出すること。提出方法および提出先は、工学系研究科 **学生募集要項** および「**TOEFL スコア提出要項**」に従うこと。公式スコアの送付、Appointment Number 等の登録および Test Taker Score Report のアップロードを含む、工学系研究科が定めるすべての手続きを完了する必要がある。

TOEIC L&R 公式スコアを用いる場合は、「**オンライン公式認定証の URL**」を後述する「**追加データオンライン入力票（修士課程）**」を通じてオンライン提出するものとする。**オンライン公式認定証が付随しない紙媒体のスコア提出等は認めない**。また TOEIC IP、TOEIC Bridge、TOEIC S&W 等のスコアは受理しない。

2.2 社会基盤学専攻における追加データの提出方法

社会基盤学専攻の受験にあたっては、工学系研究科の **WEB 出願システム** による出願および書類提出に加えて、専攻が指定する「**追加データオンライン入力票（修士課程）**」をオンラインで提出する必要がある。オンライン入力票は、社会基盤学専攻ウェブページからアクセスすること。

■ 追加データオンライン入力票(修士課程)の受付期間

2026年5月29日（金）～ 6月4日（木）15:00 [日本時間]

上記期間内に、入力および送信を完了すること。

■ 入力内容

オンライン入力票には、以下の事項を入力すること。

- ・連絡先（メールアドレス等）

試験に関する連絡や通知に使用する。確実に連絡が取れるものを入力すること。

- ・指導教員グループの希望順位

- ・**TOEIC L&R デジタル公式認定証の URL**（該当者のみ）

TOEIC L&R 公式スコアを英語能力試験の成績証明書として用いる者は、デジタル公式認定証の URL を入力すること。なお、特別口述試験を希望しない者については、出願時点で本項目の入力は必須ではない。また、出願後から7月21日 15:00 の間にデジタル公式認定証の URL を提出するためのフォームは、専攻のウェブページに別途用意する。

3. 特別口述試験

社会基盤学専攻では、**特別口述試験**を志望する出願者の中から、出願書類をもとに学業成績等を評価し、8月下旬の口述試験に先立って実施する特別口述試験の対象者を選抜する。

特別口述試験を志望する場合は、出願時に工学系研究科の **WEB 出願システム** において特別口述試験の受験意思を選択し、**英語試験スコアを含む必要書類を提出すること**。書類選考により選抜された者に対しては、6月26日頃にその旨をメール等で通知する。通知がなかった者については、特別口述試験の対象とならなかったものとする。

特別口述試験は、**7月11日（土）に実施する**。特別口述試験の実施方法と試験内容は以下の表に示す。

特別口述試験の結果は、7月17日頃に、特別口述試験受験者全員に通知する。特別口述試験に合格した者については、8月下旬の一般入試で実施する口述試験のうち「**社会基盤学（専門）**」を免除し、「**社会基盤学（一般）**」のみを実施する。なお、特別口述試験に不合格となった場合であっても、8月下旬の一般入試で実施される口述試験を受験することができ、特別口述試験の結果が入学試験の合否判定に影響することはない。

特別口述試験による合格者は、最大定員の範囲内で指導教員グループへの配属希望が優先される。

試験科目	日時	場所	配点	備考
特別口述試験	2026年7月11日 (土)	オンライン (Zoom)	—	一人 20 分程度の面接を行う。社会基盤学専攻修士課程での学修に必要な基礎的な学力、希望する研究分野に関する基礎的な能力に加えて、修士課程での学修・研究を通じた工学的貢献の構想力を評価する。受験方法の詳細については、対象者にメール等で個別に通知する。

4. 一般入試の流れと試験科目

社会基盤学専攻の一般入試は、8月31日(月)～9月2日(水)に実施する口述試験により行う。一般入試は、修士課程志願者全員を対象とし、本専攻における修士課程での学修・研究に必要な基礎的な学力および適性を総合的に評価する。

一般入試で実施する試験科目は「社会基盤学」とし、(専門)および(一般)の2項目について口述試験を行う。「英語」については、事前に提出された英語試験の公式スコアを用いる。

なお、特別口述試験に合格した者については、「社会基盤学(専門)」を免除し、「社会基盤学(一般)」のみを受験する。

4.1 試験科目と日程

入学試験の科目と日程は以下の通りである。

試験科目	日時	場所	配点	備考
英語	各自で TOEFL iBT または TOEIC L&R に申し込み、受験した公式スコアを提出。	—	300点	各自で TOEFL iBT または TOEIC L&R に申し込み、公式スコアを提出する。提出方法の詳細については、「2. 入学願書と必要書類の提出」を参照すること。英語能力試験の成績は、専攻が定める方法により 300 点満点に換算して評価する。
社会基盤学 (専門・一般)	2026年8月31日～ 9月2日(月～水) 9:00～18:30 上記期間内に実施する。面接時間は一人あたり約25分とする。	本郷・ 工学部1 号館	1000点	「社会基盤学」は、(専門)および(一般)の2項目に分かれる。 (専門)では、別紙2に示す出題分野から論文等を題材とした「事前提出課題」を課す。試験当日は、選択した試験分野における基礎知識の理解度、事前提出課題の内容に対する理解度、社会基盤学分野の学術研究や社会課題解決に向けた応用力を評価する。 (一般)では、これまでの経験を踏まえ、研究や社会課題の解決に向けた構想力および本専攻における修士課程での学修・研究への適性を評価する。提出された自己推薦書等を参考にし、試問を行う。

注1：8月下旬に実施する試験は社会基盤学の口述試験であるが、入学者選抜における評価項目には、所定の方法により事前に提出された「英語」の成績も含まれる。

注2：特別口述試験に合格した者については、一般入試における「社会基盤学(専門)」を免除し、「社会基盤学(一般)」のみを実施するため、面接時間は短縮されることがある。

注3：口述試験は、複数の受験者を単位として集合時刻を指定したうえで実施する。集合時間を含めた拘束時間は、最大で約3時間程度となる。集合時間および集合場所の詳細については、後日メール等により通知する。なお、公共交通機関の遅延などの不測の事態を除き、原則として集合時刻への遅延は認めない。

4.2 「社会基盤学(専門)」の事前提出課題

一般入試に先立ち、「社会基盤学(専門)」では、別紙2に示す各試験分野につき1つずつ、当該分野に関連する論文等を題材とした「事前提出課題」を課す。受験者は、提示される試験分野ごとの論文等および設問の中からいずれか1つを選択し、指定された論文等を読み、提示された問いに対する回答を作成して、提出すること。選択する試験分野は、希望する指導教員グループの研究分野と一致させる必要はない。なお、事前提出課題では日本語もしくは英語のいずれかの使用を認める。

事前提出課題の配布は7月24日頃、回答の提出期限は8月3日頃を予定している。具体的な課題配布日と提出期限、および提出方法については、専攻ウェブページ等を通じて別途通知する。

4.3 一般入試当日の口述試験の進め方

一般入試は本郷キャンパスにて対面形式で「社会基盤学（専門・一般）」の口述試験を行う。口述試験で用いる言語は、日本語もしくは英語のいずれかを選択できる。

「社会基盤学（専門）」では、選択した試験分野における出題範囲に関する基礎知識の理解度に加え、事前提出課題として選択した論文の内容に対する理解度ならびに、社会基盤学分野の学術研究や社会課題解決に向けた応用力を評価する。

「社会基盤学（一般）」では、これまでの経験を踏まえ、研究や社会課題の解決に向けた構想力および本専攻における修士課程での学修・研究への適性を評価する。なお、口述試験の具体的な進行順序や質問内容は、受験者の専門分野や提出課題の内容等に応じて、異なる場合がある。

工学系研究科のWEB出願システムから発行される受験票を必ず持参すること。

4.4 出願者が多数の場合の書類選考

出願者数が多数となった場合には、学業成績、英語能力試験の成績および「社会基盤学（専門）」の事前提出課題等をもとに、書類選考によって口述試験の対象者を選抜する場合がある。口述試験の対象者は、8月中旬までにメール等により通知する。

5. 合格発表・指導教員グループへの配属

合格発表は、9月10日頃を予定している。合格者の指導教員グループ配属については、合格発表後に社会基盤学専攻ウェブページに掲載する。

指導教員グループ配属は、受験者が提出した配属希望順位に基づいて行う。別紙1「社会基盤学専攻指導教員・研究内容一覧表」には、指導教員グループごとの基本定員（最小受入れ学生数）および最大定員（学生受入れ能力の目安）が示されている。配属にあたっては、各指導教員グループの定員を踏まえつつ、受験者の希望を最大限尊重するよう調整を行う。また、指導教員は、配属グループ内で適宜決定される。

6. その他の重要事項

6.1 入学時期について

社会基盤学専攻においては、大学（学部）を卒業した者、または2026年9月30日までに卒業見込みの者は、2026年10月の修士課程への入学を申請できる。希望者は、工学系研究科のWEB出願システムの該当欄に入力すること。

ただし、外国籍学生の在留資格の新規取得には、入学許可書公布から通常3ヶ月程度を要するのが通例である。このため、入学にあたり新たに本学で在留資格認定証明書交付申請の必要がある者については、手続き上の都合から、2027年4月の入学とすることが望ましい。

なお、原則として、出願後に入学時期を変更することはできない。

6.2 「社会基盤学（専門）」の問題サンプル

従来の筆記試験とは異なる形式となる「社会基盤学（専門）」について、試験内容や出題の趣旨を受験生が具体的に理解できるよう、問題サンプルを本専攻ウェブページにて公開予定である。これらの問題サンプルは、新しい試験方式における過去問に相当する参考資料として位置づけられるものである。

6.3 入試関連情報ウェブページ

工学系研究科：<https://www.t.u-tokyo.ac.jp/study-at-utokyo/soe/apply>

社会基盤学専攻：https://www.civil.t.u-tokyo.ac.jp/graduate_school/

2027年度 大学院入試案内 東京大学大学院工学系研究科 社会基盤学専攻 博士後期課程

はじめに

本専攻の入学選抜に関する基本事項（出願資格、出願方法、募集人員、提出書類、合格発表および入学手続き等）については、**2027年度 東京大学大学院工学系研究科 博士後期課程 学生募集要項**（以下、「**工学系研究科 学生募集要項**」とする）に基づくものとする。本案内は、これらを前提として、社会基盤学専攻における選抜方法、試験の実施日程および試験内容等について、より具体的に記すものである。

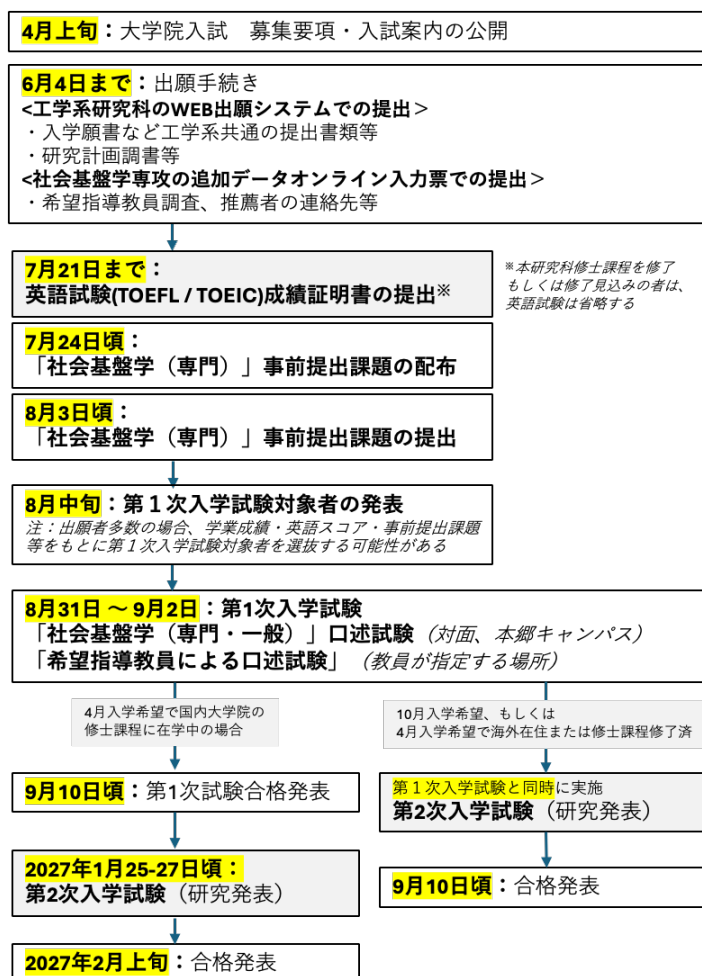
本専攻の入学選抜に関する連絡は、社会基盤学専攻ウェブページ (<https://www.civil.t.u-tokyo.ac.jp/>) または受験生へのメール等で通知されるため、必ず随時確認すること。不明な点がある場合は、メールにて下記まで問い合わせること。

東京大学大学院工学系研究科 社会基盤学専攻
入試担当チーム：gsao@civil.t.u-tokyo.ac.jp

以下の説明を注意深く読み、出願および試験の準備を進めること。

1. 選抜方法と日程

本専攻における大学院入試（博士後期課程）のスケジュール概要を以下の図に示す。本案内では、特に断りのない限り、日付は 2026 年（入試実施年）を指す。



図：大学院入試(博士後期課程)のスケジュール概要

受験を希望する者は、工学系研究科 学生募集要項に定める出願期日（2026年6月4日）までに、所定の書類をそろえて出願するものとする。

博士後期課程の入学選抜は、第1次入学試験および第2次入学試験により行い、英語試験、書類選考、口述試験、および研究発表の結果を総合して判定する。英語試験については各自で受験し、7月21日までに英語試験の公式スコアを提出するものとする。ただし、本研究科修士課程を修了した者または修了見込みの者については、英語試験は省略する。

出願者は、第1次入学試験に先立ち、7月24日頃に配布される予定の「社会基盤学（専門）」の「事前提出課題」に取り組み、8月3日頃に予定される期限までに提出するものとする。

第1次入学試験は、8月31日から9月2日にかけて実施する。第1次入学試験では、「社会基盤学（専門・一般）」の口述試験を本郷キャンパスにおいて対面で行うほか、「希望指導教員による口述試験」を各教員の指定する場所と方法で実施する。

第2次入学試験では、「研究発表」を行う。研究発表の実施時期は、入学時期、居住地域等に応じて異なり、8月下旬または1月下旬に実施する。入学試験の可否は、9月10日頃および2月上旬に発表する予定である。

なお、社会基盤学専攻においては、出願日程Bによる選抜は実施しない。

2. 入学願書と必要書類の提出

2.1 必要書類と提出先

受験を希望する者は、工学系研究科 学生募集要項に従い、入学願書を含む所定の「提出書類等」を、「工学系研究科のWEB出願システム」を通じて提出すること。

これに加えて、社会基盤学専攻の受験にあたっては、以下の書類および情報の提出を要する。提出方法および提出期限は項目ごとに異なるため、各項の指示を十分に確認すること。

①研究計画調書

所定の様式を社会基盤学専攻の選考用ウェブページからダウンロードし、設問に従って「研究計画調書」を作成し、提出すること。研究計画調書をもとに、博士後期課程における研究計画の妥当性に加え、関連分野の既往研究を踏まえて研究課題を設定し、その学術的意義および新規性を論理的に構築する能力を評価する。提出された研究計画調書は、口述試験における試問の基礎資料として用いる。本書類は社会基盤学専攻独自の提出書類であるが、工学系研究科のWEB出願システムを通じて提出するものとする。

②希望指導教員

希望指導教員は、別紙1「社会基盤学専攻指導教員・研究内容一覧表」から選択すること。希望順位を付して、最大3名まで選択できる。

希望する指導教員は、後述する「追加データオンライン入力票（博士後期課程）」を通じて、オンラインで提出するものとする。

③推薦者の連絡先

受験者の研究能力について説明する推薦状を依頼できる者の連絡先を、後述する「追加データオンライン入力票（博士後期課程）」を通じて、オンラインで提出すること。推薦者は受験者の研究内容および研究能力を十分に把握している者であることが望ましく、必ずしも現在または過去の指導教員である必要はない。推薦状の提出方法および提出期限については、推薦者に対して別途案内する。

④英語能力試験の成績証明書

英語能力は、受験者が提出する **TOEFL iBT** または **TOEIC L&R** の「英語能力試験の成績証明書」で評価する。英語能力試験の成績証明書は、本専攻が指定する期日（7月21日 15:00）までに提出すること。

TOEFL iBT 公式スコアを用いる場合は、工学系研究科の **WEB 出願システム** を通じて提出すること。提出方法および提出先は、工学系研究科 **学生募集要項** および「**TOEFL スコア提出要項**」に従うこと。公式スコアの送付、Appointment Number 等の登録および Test Taker Score Report のアップロードを含む、工学系研究科が定めるすべての手続きを完了する必要がある。

TOEIC L&R 公式スコアを用いる場合は、「**オンライン公式認定証の URL**」を後述する「**追加データオンライン入力票（博士後期課程）**」を通じてオンライン提出するものとする。**オンライン公式認定証が付随しない紙媒体のスコア提出等は認めない**。また TOEIC IP、TOEIC Bridge、TOEIC S&W 等のスコアは受理しない。

※本研究科修士課程を修了した者または修了見込みの者については、英語試験は省略する。

2.2 社会基盤学専攻における追加データの提出方法

社会基盤学専攻の受験にあたっては、工学系研究科の **WEB 出願システム** による出願および書類提出に加えて、専攻が指定する「**追加データオンライン入力票（博士後期課程）**」をオンラインで提出する必要がある。オンライン入力票は、社会基盤学専攻ウェブページからアクセスすること。

■ 追加データオンライン入力票(博士後期課程)の受付期間

2026年5月29日（金）～6月4日（木）15:00 [日本時間]

上記期間内に、入力および送信を完了すること。

■ 入力内容

オンライン入力票には、以下の事項を入力すること。

・連絡先（メールアドレス等）

試験に関する連絡や通知に使用するため、確実に連絡が取れるものを入力すること。

・希望指導教員

・推薦者の連絡先

・TOEIC L&R デジタル公式認定証の URL（該当者のみ）

TOEIC L&R 公式スコアを英語能力試験の成績証明書として用いる者は、デジタル公式認定証の URL を入力すること。なお、出願時点で本項目の入力は必須ではない。また、出願後から7月21日 15:00 の間にデジタル公式認定証の URL を提出するためのフォームは、専攻のウェブページに別途用意する。

3. 入学試験の流れと試験科目

博士後期課程の入学試験は、**第1次入学試験**および**第2次入学試験**により実施する。

第1次入学試験では、英語試験、書類選考、口述試験を通じて、博士後期課程において自立した研究を遂行するための基礎的能力を評価する。**第1次入学試験**のうち8月下旬に実施する試験科目は「**社会基盤学（専門・一般）**」および「**希望指導教員による口述試験**」である。「**英語**」については、事前に提出された英語試験の公式スコアを用いる。

第2次入学試験では、「**研究発表**」を通じて、研究計画の具体性、学術的意義および将来性を総合的に評価する。本章では、各入学試験の流れおよび試験科目について説明する。

3.1 第1次入学試験の試験科目と日程

第1次入学試験は8月31日から9月2日にかけて実施され、試験科目と日程は以下の通りである。

試験科目	日時	場所	配点	備考
英語	各自で TOEFL iBT または TOEIC L&R に申し込み、受験した公式スコアを提出。	—	300点	各自で TOEFL iBT または TOEIC L&R に申し込み、受験した公式スコアを提出する。提出方法の詳細については、「 2. 入学願書と必要書類の提出 」を参照すること。英語能力試験の成績は、専攻が定める方法により300点満点に換算して評価する。
社会基盤学 (専門・一般)	2026年8月31日から 9月2日(月～水) 9:00～18:30 上記期間内に実施する。面接時間は一人あたり約30分とする。	本郷・工学部1号館	2000点	「 社会基盤学 」は、(専門)および(一般)の2項目に大別される。 (専門)では、別紙2に示す出題分野から論文等を題材とした「 事前提出課題 」を課す。試験当日は、選択した試験分野における基礎知識の理解度、事前提出課題の内容に対する理解度、社会基盤学分野の学術研究や社会課題解決に向けた応用力を評価する。 (一般)では、これまでの研究経験等を踏まえ、博士後期課程において研究を遂行するために必要な基礎知識、研究に向けた準備状況および研究構想力を評価する。提出された 研究計画調書 を参考に試問を行う。
指導希望教員による口述試験	2026年8月31日から 9月2日(月～水) 上記期間内で教員が指定した日時で実施。	教員が指定する方法・場所	—	志望する指導教員が、 研究計画調書 等を踏まえ、博士後期課程における研究計画の具体性および実現可能性、受験者の研究遂行に対する主体性、ならびに当該研究に対する指導の適合性について面接を行い、総合的に評価する。

注1: 8月下旬に実施する試験は社会基盤学の口述試験であるが、入学者選抜における評価項目には、所定の方法により事前に提出された「英語」の成績も含まれる。本研究科修士課程を修了した者または修了見込みの者については、英語試験は省略する。

注2: 社会基盤学の口述試験は、複数の受験者を単位として集合時刻を指定したうえで実施する。集合時間を含めた拘束時間は、最大で約3時間程度となる。集合時間および集合場所の詳細については、後日メール等により通知する。なお、公共交通機関の遅延などの不測の事態を除き、原則として集合時刻への遅延は認めない。

3.2 「社会基盤学(専門)」の事前提出課題

第1次入学試験に先立ち、「**社会基盤学(専門)**」では、別紙2に示す各試験分野につき1つずつ、当該分野に関連する論文等を題材とした「**事前提出課題**」を課す。受験者は、提示される試験分野ごとの論文等および設問の中からいずれか1つを選択し、指定された論文等を読み、提示された問いに対する回答を作成して、提出すること。なお、事前提出課題では日本語もしくは英語のいずれかの使用を認める。

事前提出課題の配布は7月24日頃、回答の提出期限は8月3日頃を予定している。具体的な課題配布日と提出期限、および提出方法については、専攻ウェブページ等を通じて別途通知する。

3.3 第1次入学試験当日の進め方

第1次入学試験では、「**社会基盤学(専門・一般)**」の口述試験を順次実施するほか、「**希望指導教員による口述試験**」を行う。

「社会基盤学（専門・一般）」の口述試験は、本郷キャンパスにおいて対面形式で実施する。口述試験で用いる言語は、日本語もしくは英語のいずれかを選択できる。

「社会基盤学（専門）」では、選択した試験分野における出題範囲に関する基礎知識の理解度に加え、事前提出課題として選択した論文の内容に対する理解度ならびに、社会基盤学分野の学術研究や社会課題解決に向けた応用力を評価する。

「社会基盤学（一般）」では、これまでの研究経験等を踏まえ、博士後期課程において自立した研究を遂行するために必要な基礎知識、研究に向けた準備状況および研究構想力を評価する。提出された**研究計画調書**を参考にして質疑を行う。

「希望指導教員による口述試験」では、**研究計画調書**等を踏まえ、博士後期課程における研究計画の具体性および実現可能性、受験者の研究遂行に対する主体性、ならびに当該研究に対する指導の適合性について面接を行い、総合的に評価する。試験の日時、場所および実施方法は、希望する指導教員が指定する。

工学系研究科の **WEB 出願システム** から発行される受験票を必ず持参すること。

3.4 第2次入学試験(研究発表)

第2次入学試験では、これまでの研究成果（修士論文、査読付き学術論文、研究報告等）および博士後期課程における研究計画について、**研究発表**および質疑により学術研究能力を評価する。発表はスライド等を用いて行い、質疑を含めて20分程度とする。

第2次入学試験の時期は、受験者の入学希望時期および在学状況等により異なり、原則として以下のとおり実施する。

- ・4月入学を希望し、日本国内の大学院修士課程に在学中の者は、2027年1月25-27日頃を実施する。
- ・10月入学を希望する者、ならびに4月入学を希望する者のうち海外在住の者または修士課程を修了済みの者は、第1次入学試験と同時に実施する。

第2次入学試験の詳細な実施日程および実施方法は、対象となる受験者に対し、メール等により別途通知する。

3.5 出願者が多数の場合の書類選考

出願者数が多数となった場合には、学業成績、英語能力試験の成績および「社会基盤学（専門）」の事前提出課題等をもとに、書類選考によって第1次入学試験の対象者を選抜する場合がある。口述試験の対象者は、8月中旬までにメール等により通知する。

4. 合格発表・指導教員の決定

入学試験の可否は、第1次入学試験および第2次入学試験の結果を総合して判定する。

第2次入学試験を第1次入学試験と同時に実施した者については、合格発表を9月10日頃に行う予定である。

一方、第2次入学試験を2027年1月下旬に実施する者については、第1次入学試験の合格発表を9月10日頃に行い、第2次入学試験を含む最終的な合格発表を2027年2月上旬に行う予定である。

合格者の指導教員は、原則として出願者の希望を優先し、入学試験の結果および希望指導教員の申告内容等を踏まえ、社会基盤学専攻において決定する。

5. その他の重要事項

5.1 入学時期について

社会基盤学専攻においては、修士の学位を有する者、または2026年9月30日までに修士の学位を得る見込みの者は、2026年10月の博士後期課程への入学を申請できる。希望者は、工学系研究科のWEB出願システムの該当欄に入力すること。

ただし、外国籍学生の在留資格の新規取得には、入学許可書公布から通常3ヶ月程度を要するのが通例である。このため、入学にあたり新たに本学で在留資格認定証明書交付申請の必要がある者については、手続き上の都合から、2027年4月の入学とすることが望ましい。

なお、原則として、出願後に入学時期を変更することはできない。

5.2 「社会基盤学(専門)」の問題サンプル

従来の筆記試験とは異なる形式となる「社会基盤学(専門)」について、試験内容や出題の趣旨を受験生が具体的に理解できるよう、問題サンプルを本専攻ウェブページにて公開予定である。これらの問題サンプルは、新しい試験方式における過去問に相当する参考資料として位置づけられるものである。

5.3 入試関連情報ウェブページ

工学系研究科：<https://www.t.u-tokyo.ac.jp/study-at-utokyo/soe/apply>

社会基盤学専攻：https://www.civil.t.u-tokyo.ac.jp/graduate_school/

(別紙1) 2027年度 社会基盤学専攻指導教員・研究内容一覧表

指導教員グループ	基本定員 (最大定員)	指導教員	研究内容
都市と交通	5 (13)	羽藤 英二 教授	都市計画・交通計画
		井料 隆雅 教授	交通工学、交通ネットワーク分析、交通ビッグデータ
		大口 敬 教授 (生研)	交通制御工学、交通流解析、道路幾何構造設計、モビリティ・イノベーション
		平岩 洋三 准教授 (生研)	交通政策論
		大山 雄己 准教授	交通行動分析、交通サービス設計、物流、都市情報
空間情報	5 (14)	布施 孝志 教授	空間情報学、地域の動態解析、計測とシミュレーションの統合、写真測量、画像処理、3次元視覚化
		竹内 渉 教授 (生研)	環境・災害リモートセンシング、インフラヘルスマonitoring
		市村 強 教授 (震研)	都市・社会のシミュレーション、computational science、計算地震工学/地質学、人工知能と物理シミュレーションの融合
		関本 義秀 教授 (空間)	広域人流シミュレーション、都市の三次元デジタルツイン構築、リアルタイム都市モニタリング、計算社会情報学
		ラリス ウィジャラトネ 教授 (震研)	計算地震工学、断層の動的破壊シミュレーション、亀裂伝播シミュレーション、災害後の経済の大規模シミュレーション
藤田 航平 准教授 (震研)	富岳を用いた超大規模地震シミュレーション、最先端計算機構の性能を引き出す計算機科学的アルゴリズムの開発		
水圏環境	8 (31)	沖 大幹 教授	地球人間工学、水と気候変動と持続可能な開発、地球環境変動リスク管理
		田島 芳満 教授	氾濫のシミュレーションと減災防災、波と流れ、海浜変形のモニタリングと予測
		下園 武範 教授	流体力学、土砂輸送と地形変化、水理構造物
		花崎 直太 教授 (特定)	人間活動を含む全球水文モデリング、水分野に関する温暖化の影響評価
		芳村 圭 教授 (生研)	水同位体気象学、地球規模物質循環、地表面過程、洪水予測、気候変動
		川崎 昭如 教授 (未来)	気候適応・防災投資による社会レジリエンス強化、水災害が社会経済システムに及ぼす影響の解明
		沖 一雄 特任教授 (生研)	広域の水・生態・環境計測、流域の生態・環境モデリング、環境保全型流域圏の構築
		山崎 大 准教授 (生研)	水文学、グローバル陸水動態、水文モデルと衛星観測の統合、データ科学手法の水文モデルでの活用
		澤田 洋平 准教授	水文気象災害予測、シミュレーション・観測データ統合の数理
		南出 将志 特任准教授	気象学、データ同化、極端気象の力学とその数値予報
		木野佳音 講師 (生研)	古気候力学、気候モデリング、極端気象の将来予測と適応、大気陸面相互作用、気象学、極域科学
		レ デュック 特任講師	データ同化、数値天気予報
		徳田 大輔 特任講師 (生研)	水文輸送学、陸面大気相互作用、河川湖沼水温モデリング
基盤技術と設計 A	3 (10)	桑野 玲子 教授 (生研)	地盤工学/土質力学、地盤機能保全工学、土の構造と力学挙動、地盤調査
		渡邊 健治 教授	地盤耐震工学、豪雨地盤災害、水圏地盤工学、土構造物の性能設計と性能施工
		清田 隆 教授 (生研)	地圏災害軽減工学、地震液状化、国内外の地震被害調査
		王 海龍 特任准教授	不飽和土の特性、ベントナイト・気泡土など特殊土の特性、CO2固定材料の活用、セメントを使用しない地盤改良・インフラ補修技術の開発、高度な実験装置・センサーの工作
基盤技術と設計 B	4 (11)	石原 孟 教授	風と構造物の相互作用、構造物の信頼性設計と健全性評価、風環境の数値予測と予報、洋上風力発電技術の開発
		長山 智則 教授	橋梁工学、構造制御・モニタリング、構造物や車両の力学モデルと観測データの統合、インフラの性能評価
		蘇 迪 准教授	構造物の数値シミュレーション、交通インフラのダイナミクス、信頼性設計・リスク分析、最適化設計
		水谷 司 准教授 (生研)	インフラの“四次元透視”技術、三次元地中レーダー、LiDAR、電磁波計測、次世代サイバーインフラ、デジタル信号処理、構造工学
菊地 由佳 講師	風工学と構造物の振動予測、風力発電設備の異常検知、風力発電コストの評価		
基盤技術と設計 C	4 (13)	石田 哲也 教授	コンクリート工学、セメント系材料の3Dプリンティング、データ駆動・AI支援型維持管理、パサルトFRP補強コンクリート構造、マルチスケール・マルチフィジックス解析
		岸 利治 教授 (生研)	コンクリートの機構解明と技術開発、マイクロ・ナノ空間中の物理化学、レオロジーと流体の運動、竣工検査と耐久性検証、ひび割れ自己治癒コンクリート
		高橋 佑弥 准教授	コンクリート構造物の耐久性力学解析、維持管理、コンクリート構造物のデジタルツイン、コンクリート工学の新材料/工法への適用
		酒井 雄也 准教授 (生研)	コンクリート構造物の維持管理と非破壊検査、脱炭素・持続型建設材料、建設材料の次世代リサイクル技術
		大野 元寛 特任講師 (社会連携)	建設用メタマテリアル、3Dコンクリートプリンティング、CCUコンクリート、繊維補強ジオポリマー
マネジメント	2 (8)	堀田 昌英 教授	社会基盤マネジメント、社会的意思決定論、公共調達、事業制度設計
		全 邦釘 特任教授 (寄付)	ICT/AIを活用したインフラ維持管理、BIM/CIM、i-Constructionシステム学
		鈴木 貴大 講師	社会的意思決定論、ゲーム理論、公共調達
		〇マエムラ ユウ 講師 (新領域)	国際協調マネジメント、開発援助評価、コンフリクトと交渉、文化間コミュニケーション
国際プロジェクト	2 (9)	加藤 浩徳 教授	国際プロジェクト学、国際交通学、交通計画、交通政策
		福田 大輔 教授	スマート社会における人々の行動や意識の予測、都市・地域経済の持続的・協調的發展を支援する計画・政策論、スマートシティ/モビリティシステムの国際展開戦略
		〇本田 利器 教授 (新領域)	社会的レジリエンス、社会ネットワーク、地震工学、技術移転、維持管理工学
		〇森川 想 講師 (新領域)	行政学・政策学、公共政策における協働と協創
併任教員: 沖 大幹 教授、竹内 渉 教授、大原 美保 教授、川崎 昭如 教授			
デザインと景観	1 (5)	中井 祐 教授	景観論、公共空間・公共施設のデザインとまちづくり、近代土木デザイン史
都市・防災	2 (4)	大原 美保 教授 (学環/生研)	災害レジリエンス、災害リスク評価、気候変動適応策、災害対応計画と人材育成
		沼田 宗純 准教授 (学環/生研)	災害対策論、レジリエンス評価、災害対応シミュレーション、防災プロセス工学、行政対応とリーダー人材教育

備考1: ○は兼任教員を表す。兼任教員は社会基盤学専攻に講義の担当などの形で協力するが、原則として社会基盤学専攻の学生の論文指導は行わない。
 備考2: それぞれの教員の本務先は、(生研) 生産技術研究所、(震研) 地震研究所、(新領域) 新領域創成科学研究科、(空間) 空間情報科学研究センター、(未来) 未来ビジョン研究センター、(学環) 情報学環、(社会連携) 社会連携講座、(寄付) 寄付講座、(特定) 特定客員大講座である。
 備考3: 各グループ内での指導教員は協議のうえ決定されることになる。研究内容は例示であり、学生の研究テーマは入学後に決定される。

(別紙2) 「社会基盤学(専門)」の試験分野と出題範囲

「社会基盤学(専門)」の「事前提出課題」では、以下の各試験分野につき1つずつ、当該分野に関連する論文等を題材として出題する。受験者は、提示される試験分野ごとの論文等および設問の中からいずれか1つを選択する。

「社会基盤学(専門)」の口述試験では、事前提出課題として選択した論文等の内容およびその回答を前提として、選択した試験分野における出題範囲に関する基礎知識の理解度ならびに、学術研究や社会課題解決に向けた応用力を評価する。

試験分野	出題範囲
分野1 交通工学	交通計画、交通政策、交通行動分析、交通・都市経済、交通量配分、交通流、交通シミュレーション、交通サービス設計、物流・公共交通システムの最適化
分野2 空間情報	測地系、誤差調整、地上測量、Global Navigation Satellite System、写真測量、レーザ測量、地理情報システム、計算幾何学、空間データ構造、時空間データ処理、空間データマネジメント、観測プラットフォーム、リモートセンシング(光学・熱赤外・マイクロ波)、スペクトル指標、画像解析
分野3 計算科学	数値解析の基礎、現象のモデル化、アルゴリズム設計、数値積分、数値微分、補間、固有値問題、数値関数の展開(有限差分法・有限要素法)、方程式求解、関数の直交性、スパース性
分野4 水理学	保存則と支配方程式、静水力学、自由水面流れ、水面波(波浪・津波・高潮)、流れの抵抗と損失、波・流れと構造物の相互作用
分野5 水文学	地球上の水の分布、大気陸面過程、降雨流出過程、気候変動の影響と対策、水災害、水資源、流域管理
分野6 地盤工学	地盤材料の力学(土の基本的性質・圧密・せん断・締固め・透水・液状化)、土構造物および基礎(盛土・擁壁・斜面安定・支持力)、室内土質試験、原位置試験
分野7 構造工学	構造力学(はり・柱の力学、エネルギー原理、安定・不安定問題)、連続体力学の基礎、構造設計の基礎、信頼性設計、構造振動・耐震の基礎
分野8 コンクリート工学	コンクリート構造物の構成材料、コンクリートの設計、フレッシュコンクリートと施工計画、セメント系材料の水和・若材齢特性・耐久性、硬化コンクリートの性質、コンクリート構造の力学、コンクリート構造物の維持管理
分野9 マネジメント・国際プロジェクト	建設マネジメント(プロジェクトマネジメント、入札・契約制度、産業政策論、AI・ICT活用)、ゲーム理論の基礎、国際プロジェクト論(経済発展とインフラ整備・開発、人口移動、国際貿易と開発戦略、海外投資と海外援助)、実証分析・政策分析の基礎
分野10 景観学・土木デザイン・都市計画	景観操作の概念と景観分析の基礎知識、土木デザインの目的と方法、土木デザイン各論(土木構造物、都市公共空間)、都市計画(各種制度と技術)、都市史、土地利用計画、復興計画
分野11 防災工学	災害発生メカニズム、災害リスク評価、防災計画、防災制度、防災対策、国際防災戦略、災害情報の活用、リスク・コミュニケーション

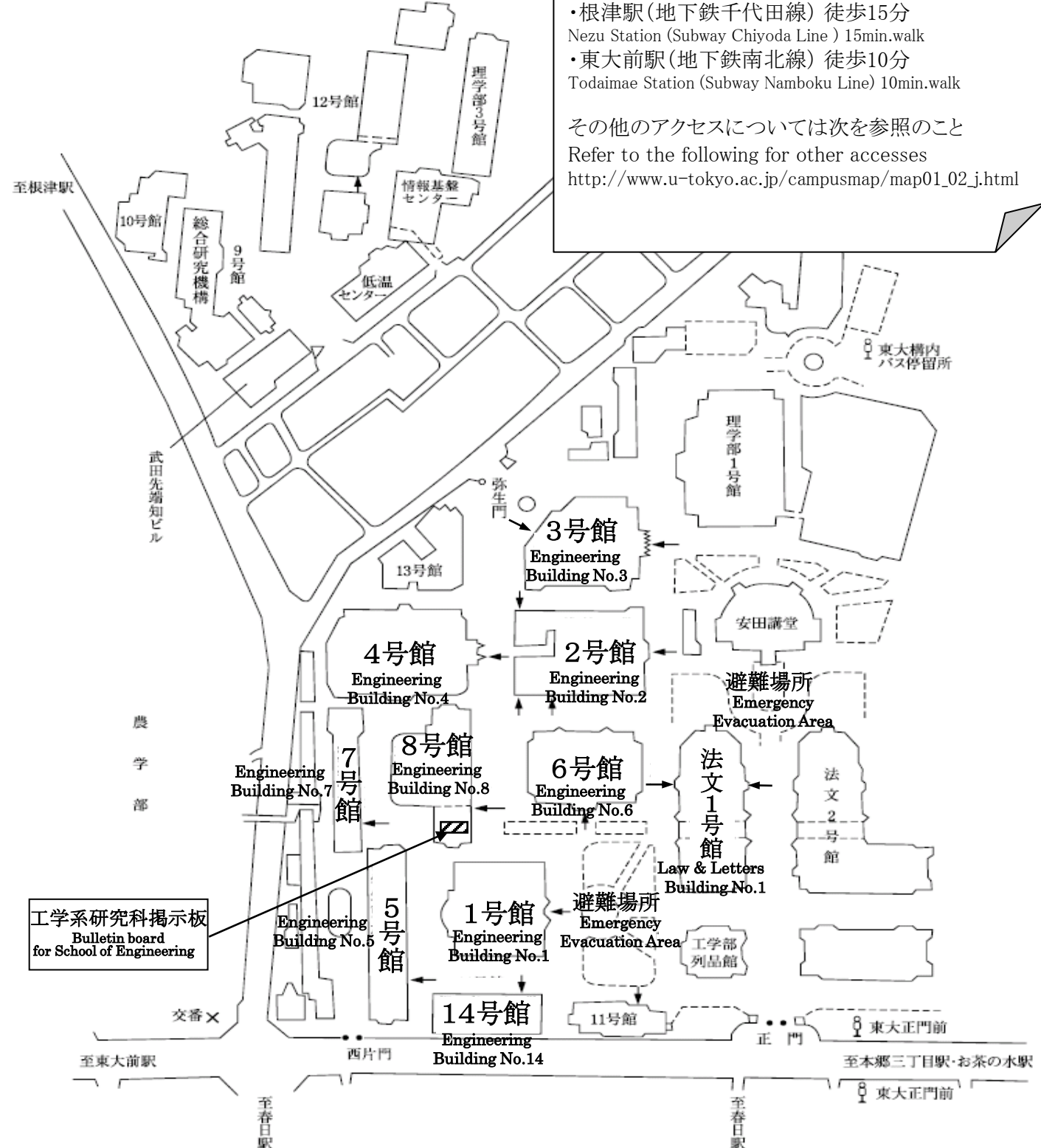
試験場案内(東京大学本郷キャンパス)
 Campus Map for the Examination
 (Hongo campus, the University of Tokyo)

地下鉄利用 Subway

- 本郷三丁目駅(地下鉄丸の内線) 徒歩20分
Hongo-sanchoime Station (Subway Marunouchi Line) 20min.walk
- 本郷三丁目駅(地下鉄大江戸線) 徒歩20分
Hongo-sanchoime Station (Subway Oedo Line) 20min.walk
- 根津駅(地下鉄千代田線) 徒歩15分
Nezu Station (Subway Chiyoda Line) 15min.walk
- 東大前駅(地下鉄南北線) 徒歩10分
Todaimae Station (Subway Namboku Line) 10min.walk

その他のアクセスについては次を参照のこと
 Refer to the following for other accesses

http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map01_02_j.html



工学系研究科掲示板
 Bulletin board
 for School of Engineering

法文1号館
 Law & Letters
 Building No.1

避難場所
 Emergency
 Evacuation Area

1号館
 Engineering
 Building No.1

5号館
 Engineering
 Building No.5

8号館
 Engineering
 Building No.8

4号館
 Engineering
 Building No.4

2号館
 Engineering
 Building No.2

3号館
 Engineering
 Building No.3

10号館

総合研究機構

9号館

12号館

情報基盤
 センター

低温
 センター

理学部3号館

理学部1号館

安田講堂

避難場所
 Emergency
 Evacuation Area

法文2号館

工学部
 列品館

避難場所
 Emergency
 Evacuation Area

11号館

14号館
 Engineering
 Building No.14

7号館
 Engineering
 Building No.7

13号館

至東大前駅

西片門

正門

至本郷三丁目駅・お茶の水駅

至春日駅

至春日駅

武田先端知ビル

農学部

交番

東大橋内
 バス停留所

東大正門前

Guide to the 2027 Entrance Examination

Department of Civil Engineering

Graduate School of Engineering

The University of Tokyo

Department of Civil Engineering
Graduate School of Engineering, The University of Tokyo
7-3-1 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo, 113-8656 JAPAN

Admission Team

E-mail: gsao@civil.t.u-tokyo.ac.jp

Department of Civil Engineering, Admission information webpage:

https://www.civil.t.u-tokyo.ac.jp/graduate_school/

The Department of Civil Engineering will significantly revise the method of administering the examination subject “Civil Engineering” starting from the 2027 Graduate School Entrance Examination (to be conducted in the summer of 2026). Please read this Guide to the Entrance Examination carefully and proceed with your preparations accordingly.

Guide to the 2027 Entrance Examination, Department of Civil Engineering Graduate School of Engineering, The University of Tokyo, **Master's Program**

Introduction

The basic matters regarding admission selection for this Department (application eligibility, application procedures, enrollment capacity, documents for submission, announcement of results, admission procedures, etc.) shall be based on the “**Guidelines for Applicants to the 2027 Master's Program, Graduate School of Engineering, The University of Tokyo**” (hereinafter referred to as the “**Guidelines for Applicants, Graduate School of Engineering**”). This guide provides more detailed information on the selection method, examination schedule, and examination content of the Department of Civil Engineering, based on the above guidelines.

Notices regarding admission selection for this Department will be provided on the Department of Civil Engineering website (<https://www.civil.t.u-tokyo.ac.jp/>) and/or by email to applicants; therefore, be sure to check them from time to time. If you have any questions, please contact the following by email.

Department of Civil Engineering, Graduate School of Engineering, The University of Tokyo
Admission Team: gsao@civil.t.u-tokyo.ac.jp

Please read the following instructions carefully and proceed with preparations for the application and the examination.

1. Selection Method and Schedule

This Department conducts admission selection in two stages: the **Special Oral Examination** held in July and the **General Entrance Examination (Oral Examination)** held in late August. An outline of the schedule for the Graduate School Entrance Examination (Master's Program) in this Department is shown in the figure below. In this guide, unless otherwise specified, all dates refer to the year 2026 (the year in which the Entrance Examination is conducted).

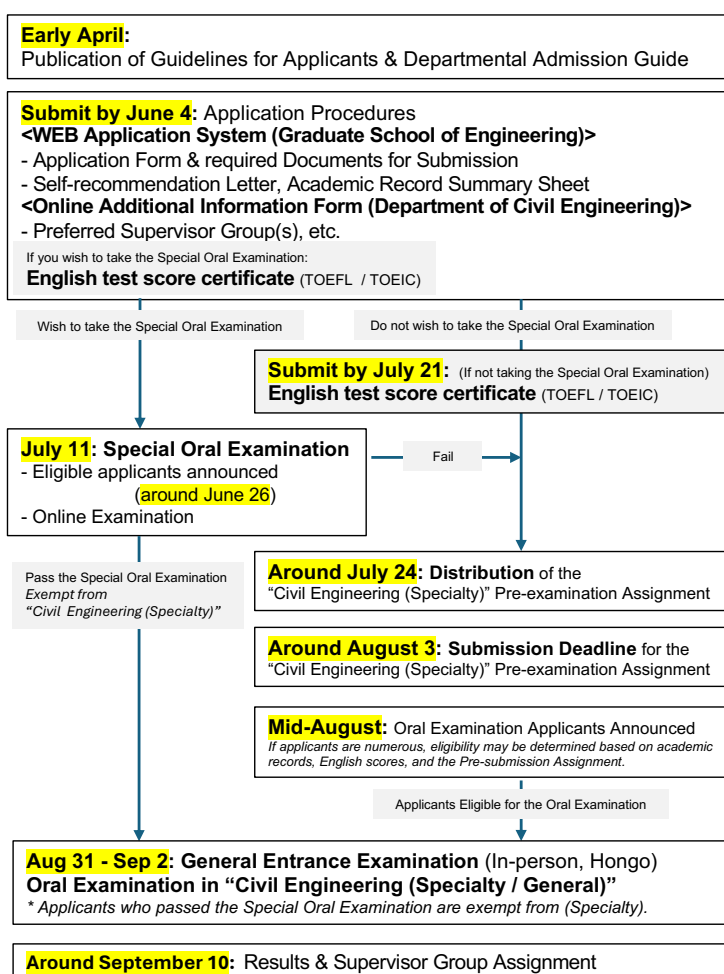


Figure: Outline of the Schedule for the Graduate School Entrance Examination (Master's Program)

Applicants who wish to take the examination shall **complete the application by the application deadline (June 4, 2026)** specified in the **Guidelines for Applicants, Graduate School of Engineering**, and submit all required documents.

Admission selection for the Master's Program shall be made comprehensively based on the results of an English Language Test, document screening, and an oral examination. **Applicants shall take the English Language Test individually and submit the official score of the English Language Test by the designated deadline.**

The Department of Civil Engineering conducts a **Special Oral Examination** for students with particularly outstanding academic records. Applicants who wish to take the Special Oral Examination shall submit the required documents, including the English Language Test score, at the time of application and undergo document screening. Those who pass the document screening shall take the **Special Oral Examination (online) on July 11**. Applicants who pass the Special Oral Examination shall be exempt from **“Civil Engineering (Specialty)”** in the oral examination conducted as part of the General Entrance Examination in late August.

Applicants who do not wish to take the Special Oral Examination, and those who do not pass the Special Oral Examination, shall be selected through the General Entrance Examination in late August. Prior to the General Entrance Examination, they shall complete the **“Pre-examination Assignment”** for **“Civil Engineering (Specialty),”** which is scheduled to be **distributed around July 24**, and submit it by the **deadline scheduled around August 3**.

The oral examination for the General Entrance Examination shall be conducted in person at the Hongo Campus from **August 31 to September 2**. In the oral examination, applicants shall be examined on **“Civil Engineering (Specialty)”** and **“Civil Engineering (General).”** However, as stated above, applicants who pass the Special Oral Examination shall be exempt from **“Civil Engineering (Specialty).”**

The results of the Entrance Examination are scheduled to be announced around September 10.

The Department of Civil Engineering does not conduct selection under Application Schedule B.

2. Submission of Application Form and Required Documents

2.1 Required Documents and Submission Method

Applicants who wish to take the examination shall, in accordance with the **Guidelines for Applicants, Graduate School of Engineering**, submit the prescribed **“Documents for Submission”**, including the application form, through the **“WEB Application System of the Graduate School of Engineering”**.

In addition to the above, applicants to the Department of Civil Engineering are required to submit the following documents and information. As the submission method and deadline differ depending on the item, carefully confirm the instructions for each item.

① Self-recommendation Letter

Applicants shall submit a **“Self-recommendation Letter”** describing, based on their current studies and research activities, the research they wish to pursue in the Master's Program and their future plans and perspectives. The prescribed format shall be downloaded from the Department of Civil Engineering website.

This document is a required submission unique to the Department of Civil Engineering; however, it shall be submitted through the **WEB Application System of the Graduate School of Engineering**.

② Academic Record Summary Sheet

Applicants shall download the **“Academic Record Summary Sheet”** from the Department of Civil Engineering website, compile their academic records in accordance with the instructions for completion, and submit it.

This document is a required submission unique to the Department of Civil Engineering; however, it shall be submitted through the **WEB Application System of the Graduate School of Engineering**.

③ Preferred Supervisor Group

In the Department of Civil Engineering, a unit composed of multiple faculty members in closely related research fields is referred to as a **“Supervisor Group.”** After enrollment, Master's Program students shall be allocated to one of the Supervisor Groups and receive research supervision from faculty members belonging to that group.

Applicants shall select the Supervisor Group to which they wish to be allocated after enrollment from **Appendix 1, “List of Supervisor Groups and Research Fields, Department of Civil Engineering.”** The preferred Supervisor Groups shall be indicated in order of preference, starting from the first choice, without duplication. It is not mandatory to indicate a preference order for all Supervisor Groups. **However, note that if an applicant cannot be allocated to any of the Supervisor Groups for which a preference order has been indicated, the applicant may be deemed unsuccessful.**

For details of the allocation method, refer to **“5. Announcement of Results and Allocation to Supervisor Groups.”**

The preferred Supervisor Groups shall be submitted online through the **“Online Additional Information Form (Master's Program)”** described below.

④ English Language Test Score Certificate

English language proficiency shall be evaluated based on the “**English Language Test score certificate**” (TOEFL iBT or TOEIC L&R) submitted by the applicant.

The deadline for submission of the English Language Test score certificate differs depending on whether the applicant wishes to take the Special Oral Examination.

- Applicants who wish to take the Special Oral Examination shall submit the score certificate by June 4, 15:00.
- Applicants who do not wish to take the Special Oral Examination shall submit the score certificate by the date designated by this Department (July 21, 15:00).

If an applicant uses an **official TOEFL iBT score**, it shall be submitted through the **WEB Application System of the Graduate School of Engineering**. The submission method and submission destination shall follow the “**Guidelines for Applicants, Graduate School of Engineering**” and the “**Guidelines for Submission of TOEFL Scores**” issued by the Graduate School of Engineering. All procedures specified by the Graduate School of Engineering must be completed, including the sending of the official score, registration of the Appointment Number, and upload of the Test Taker Score Report.

If an applicant uses an **official TOEIC L&R score**, the “**URL of the Digital Score Report**” shall be submitted online through the “**Online Additional Information Form (Master’s Program)**” described below. **Paper-based score reports without an accompanying Digital Score Report shall not be accepted.** Scores from TOEIC IP, TOEIC Bridge, TOEIC S&W, or similar tests shall not be accepted.

2.2 Submission Method for Additional Information in the Department of Civil Engineering

In addition to the application and submission of Documents for Submission through the **WEB Application System of the Graduate School of Engineering**, applicants to the Department of Civil Engineering are required to submit online the “**Online Additional Information Form (Master’s Program)**” designated by the Department. The Online Additional Information Form shall be accessed through the Department of Civil Engineering website.

■ Submission Period for the Online Additional Information Form (Master’s Program)

May 29 (Fri.) – June 4 (Thu.), 15:00 [Japan Standard Time]

Input and submission must be completed within the above period.

■ Information to be Entered

The following items shall be entered in the Online Additional Information Form:

- **Contact information (email address, etc.)**

This will be used for communications and notifications regarding the examination. Enter information through which you can be reliably contacted.

- **Order of preference for Supervisor Groups**
- **URL of the TOEIC L&R Digital Score Report** (if applicable)

Applicants who use an official TOEIC L&R score as the English Language Test score certificate shall enter the URL of the Digital Score Report. For applicants who do not wish to take the Special Oral Examination, entry of this item is not mandatory at the time of application. A separate form for submitting the URL of the Digital Score Report during the period from after application until July 21, 15:00 will be provided on the Department website.

3. Special Oral Examination

In the Department of Civil Engineering, among applicants who wish to take the **Special Oral Examination**, academic records and other materials will be evaluated based on the application documents, and those to be invited to the Special Oral Examination, which is conducted prior to the oral examination in late August, will be selected.

Applicants who wish to take the Special Oral Examination shall indicate their intention to take the Special Oral Examination in the WEB Application System of the Graduate School of Engineering at the time of application and submit the required documents, including the English Language Test score. Applicants selected through document screening will be notified by email or other means around June 26. Applicants who do not receive such notification shall be regarded as not having been selected for the Special Oral Examination.

The Special Oral Examination will be conducted on July 11 (Sat). The method of implementation and examination content of the Special Oral Examination are shown in the table below.

The results of the Special Oral Examination will be notified to all examinees around July 17. Applicants who pass the Special Oral Examination shall be exempt from “**Civil Engineering (Specialty)**” in the oral examination conducted as part of the General Entrance Examination in late August and shall take only “**Civil Engineering (General).**” Even if an applicant does not pass the Special Oral Examination, the applicant may take the oral examination conducted in late August, and the result of the Special Oral Examination shall not affect the final pass/fail decision of the Entrance Examination.

Applicants who pass through the Special Oral Examination shall be given priority in allocation to their preferred Supervisor Group within the maximum enrollment capacity.

Examination Subject	Date	Location	Score	Remarks
Special Oral Examination	July 11, 2026 (Sat)	Online (Zoom)	—	An interview of approximately 20 minutes will be conducted for each applicant. In addition to fundamental academic ability required for study in the Master's Program of the Department of Civil Engineering and fundamental competence in the applicant's desired research field, the ability to formulate concepts for engineering contributions through study and research in the Master's Program will be evaluated. Details regarding the examination method will be individually notified to the selected applicants by email or other means.

4. Procedures and Examination Subjects of the General Entrance Examination

The General Entrance Examination of the Department of Civil Engineering shall be conducted by an oral examination held from August 31 (Mon) to September 2 (Wed). The General Entrance Examination is administered to all applicants to the Master's Program and comprehensively evaluates the fundamental academic ability and aptitude required for study and research in the Master's Program of this Department.

The examination subject administered in the General Entrance Examination shall be “Civil Engineering,” and an oral examination shall be conducted for the two components: (Specialty) and (General). For “English,” the official score of the English Language Test submitted in advance shall be used.

Applicants who have passed the Special Oral Examination shall be exempt from “Civil Engineering (Specialty)” and shall take only “Civil Engineering (General).”

4.1 Examination Subjects and Schedule

The subjects and schedule of the Entrance Examination are as follows.

Examination Subject	Date	Location	Score	Remarks
English	Applicants shall individually register for TOEFL iBT or TOEIC L&R and submit the official score obtained.	—	300	Applicants shall individually register for TOEFL iBT or TOEIC L&R and submit the official score. For details of the submission method, refer to “2. Submission of Application Form and Required Documents.” The English Language Test score will be converted and evaluated out of 300 points in accordance with the method prescribed by the Department.
Civil Engineering (Specialty / General)	August 31 to September 2, 2026 (Mon–Wed), 9:00–18:30 The examination will be conducted within the above period. The interview time will be approximately 25 minutes per applicant.	Hongo Campus, Engineering Bldg. No. 1	1000	“Civil Engineering” consists of two components: (Specialty) and (General). In the (Specialty) component, the “Pre-examination Assignment” based on papers or other materials from the examination fields shown in Appendix 2 will be required. On the day of the examination, the applicant's understanding of fundamental knowledge in the selected examination field, understanding of the content of the Pre-examination Assignment, and ability to apply knowledge toward academic research and the resolution of social issues in the field of Civil Engineering will be evaluated. In the (General) component, based on the applicant's past experience, the ability to formulate concepts for research and the resolution of social issues, as well as aptitude for study and research in the Master's Program of this Department, will be evaluated. Questioning will be conducted with reference to the submitted Self-recommendation Letter and other materials.

Note 1: The examination conducted in late August is the oral examination for “Civil Engineering”; however, the evaluation items for admission selection also include the “English” score submitted in advance in accordance with the prescribed method.

Note 2: Applicants who have passed the Special Oral Examination shall be exempt from “Civil Engineering (Specialty)” in the General Entrance Examination and shall take only “Civil Engineering (General)””; therefore, the interview time may be shortened.

Note 3: The oral examination will be conducted by designating a reporting time for groups of multiple applicants. The total time required, including the reporting time, may be up to approximately three hours. Details of the reporting time and reporting location will be notified later by email or other means. Except in cases of unforeseen circumstances such as delays in public transportation, late arrival at the designated reporting time will, in principle, not be permitted.

4.2 Pre-examination Assignment for “Civil Engineering (Specialty)”

Prior to the General Entrance Examination, in “Civil Engineering (Specialty)”, one “Pre-examination Assignment” will be set for each examination field shown in Appendix 2, based on academic papers or other materials related to the respective field. Applicants shall select one from among the papers or other materials and questions presented for each examination field, read the designated paper or materials, prepare responses to the questions provided, and submit them. The selected examination field does not need to correspond to the research field of the Prospective Supervisor Group. Either Japanese or English may be used for the Pre-examination Assignment.

The Pre-examination Assignment is scheduled to be distributed around July 24, and the deadline for submission of responses is scheduled around August 3. The specific date of distribution, submission deadline, and submission method will be separately notified through the Department website or other means.

4.3 Procedure of the Oral Examination on the Day of the General Entrance Examination

The General Entrance Examination shall consist of an in-person oral examination on “**Civil Engineering (Specialty / General)**” conducted at the Hongo Campus. Applicants may choose either Japanese or English as the language to be used in the oral examination.

In “**Civil Engineering (Specialty)**”, in addition to evaluating the applicant’s understanding of fundamental knowledge within the scope of the selected examination field, the examination will assess the applicant’s understanding of the content of the paper selected for the Pre-examination Assignment, as well as the ability to apply knowledge toward academic research and the resolution of social issues in the field of Civil Engineering.

In “**Civil Engineering (General)**”, based on the applicant’s past experience, the examination will evaluate the ability to formulate concepts for research and the resolution of social issues, as well as aptitude for study and research in the Master’s Program of this Department. The specific order of proceedings and the content of questions in the oral examination may vary depending on the applicant’s field of specialization and the content of the submitted assignment.

Applicants must bring the Examination Admission Ticket issued through the WEB Application System of the Graduate School of Engineering.

4.4 Document Screening in the Event of a Large Number of Applicants

If the number of applicants is large, applicants to be invited to the oral examination may be selected through document screening based on academic records, English Language Test scores, the Pre-examination Assignment for “**Civil Engineering (Specialty)**”, and other materials. Applicants selected for the oral examination will be notified by email or other means by mid-August.

5. Announcement of Results and Allocation to Supervisor Groups

The announcement of successful applicants is scheduled for September 10. The allocation of successful applicants to Supervisor Groups will be posted on the website of the Department of Civil Engineering after the announcement of results.

Allocation to Supervisor Groups will be made based on the order of preference submitted by each applicant. **Appendix 1, “List of Supervisor Groups and Research Fields, Department of Civil Engineering,”** indicates the basic quota (minimum number of students to be accepted) and the maximum quota (approximate capacity for student acceptance) for each Supervisor Group. In making allocations, adjustments will be made with due consideration of the quotas of each Supervisor Group, while respecting applicants’ preferences to the greatest extent possible. The individual academic supervisor will be determined within the assigned Supervisor Group.

6. Other Important Matters

6.1 Enrollment Timing

In the Department of Civil Engineering, persons who have graduated from a university (undergraduate program), or who are expected to graduate by September 30, 2026, may apply for enrollment in the Master’s Program in October 2026. Applicants who wish to enroll in October 2026 shall indicate this in the **WEB Application System of the Graduate School of Engineering**.

However, it generally takes approximately three months from the issuance of the Letter of Acceptance to newly obtain a status of residence for international students. Therefore, **applicants who newly require this University to apply for a Certificate of Eligibility for a status of residence for their enrollment are advised, for procedural reasons, to enroll in April 2027.**

In principle, the enrollment timing cannot be changed after application.

6.2 Sample Questions for “Civil Engineering (Specialty)”

For “**Civil Engineering (Specialty)**,” which differs in format from the conventional written examination, sample questions are scheduled to be made available on the Department website so that applicants can gain a concrete understanding of the examination content and the intent of the questions. These sample questions are positioned as reference materials equivalent to past examination questions under the new examination format.

6.3 Websites for Entrance Examination Information

Graduate School of Engineering: <https://www.t.u-tokyo.ac.jp/en/study-at-utokyo/soe/apply>

Department of Civil Engineering: https://www.civil.t.u-tokyo.ac.jp/graduate_school/

Guide to the 2027 Entrance Examination, Department of Civil Engineering Graduate School of Engineering, The University of Tokyo, **Doctoral Program**

Introduction

The basic matters regarding admission selection for this Department (application eligibility, application procedures, enrollment capacity, documents for submission, announcement of results, admission procedures, etc.) shall be based on the “**Guidelines for Applicants to the 2027 Doctoral Program, Graduate School of Engineering, The University of Tokyo**” (hereinafter referred to as the “**Guidelines for Applicants, Graduate School of Engineering**”). This guide provides more detailed information on the selection method, examination schedule, and examination content of the Department of Civil Engineering, based on the above guidelines.

Notices regarding admission selection for this Department will be provided on the Department of Civil Engineering website (<https://www.civil.t.u-tokyo.ac.jp/>) and/or by email to applicants; therefore, be sure to check them from time to time. If you have any questions, contact the following by email.

Department of Civil Engineering, Graduate School of Engineering, The University of Tokyo
Admission Team: gsao@civil.t.u-tokyo.ac.jp

Please read the following instructions carefully and proceed with preparations for the application and the examination.

1. Selection Method and Schedule

An outline of the schedule for the Graduate School Entrance Examination (Doctoral Program) in this Department is shown in the figure below. In this guide, unless otherwise specified, all dates refer to the year 2026 (the year in which the Entrance Examination is conducted).

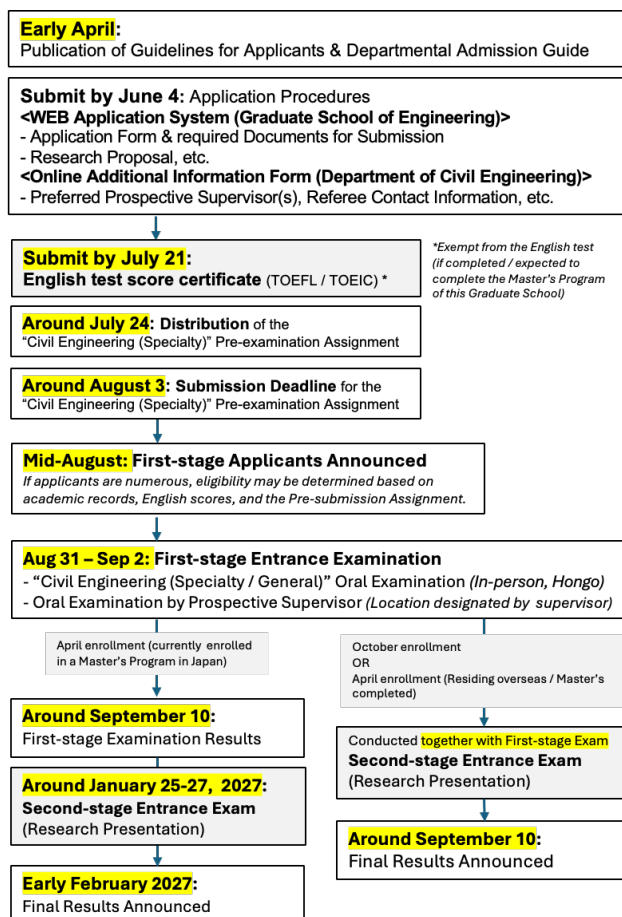


Figure: Outline of the Schedule for the Graduate School Entrance Examination (Doctoral Program)

Applicants who wish to take the examination shall complete the application by **the application deadline (June 4, 2026)** specified in the **“Guidelines for Applicants, Graduate School of Engineering”**, and submit the prescribed documents.

Admission selection for the Doctoral Program shall be conducted through the **First-stage Entrance Examination** and the **Second-stage Entrance Examination**, and the final decision shall be made comprehensively based on the results of the English Language Test, document screening, oral examinations, and research presentation. **Applicants shall take the English Language Test individually and submit the official score by July 21.** However, applicants who have completed, or are expected to complete, the Master’s Program of this Graduate School are exempt from the English Language Test.

Prior to the First-stage Entrance Examination, applicants shall complete the **“Pre-examination Assignment” for “Civil Engineering (Specialty),”** which is scheduled to be distributed around July 24, and submit it by the deadline scheduled around August 3.

The First-stage Entrance Examination shall be conducted from August 31 to September 2. In the First-stage Entrance Examination, in addition to the in-person oral examination on **“Civil Engineering (Specialty / General)”** conducted at the Hongo Campus, an **“Oral Examination by the Prospective Supervisor”** shall be conducted at a location and in a manner designated by each faculty member.

In **the Second-stage Entrance Examination**, applicants shall give a **“Research Presentation”**. **The timing of the research presentation differs depending on the enrollment timing and the applicant’s place of residence, and shall be conducted either in late August or in late January.** The results of the Entrance Examination are scheduled to be announced around September 10 and in early February.

The Department of Civil Engineering does not conduct selection under Application Schedule B.

2. Submission of Application Form and Required Documents

2.1 Required Documents and Submission Method

Applicants who wish to take the examination shall, in accordance with the **“Guidelines for Applicants, Graduate School of Engineering”**, submit the prescribed **“Documents for Submission”**, including the application form, through the **“WEB Application System of the Graduate School of Engineering”**.

In addition to the above, applicants to the Department of Civil Engineering are required to submit the following documents and information. As the submission method and deadline differ depending on the item, carefully confirm the instructions for each item.

① Research Proposal

Download the prescribed format from the Department of Civil Engineering’s admissions webpage, prepare the **“Research Proposal”** in accordance with the instructions, and submit it. Based on the submitted Research Proposal, the feasibility of the research plan for the Doctoral Program, as well as the applicant’s ability to formulate a research topic in light of previous studies in related fields and to logically construct its academic significance and originality, will be evaluated. The submitted Research Proposal will be used as basic material for questioning in the oral examination.

This document is a required submission unique to the Department of Civil Engineering; however, it shall be submitted through the **WEB Application System of the Graduate School of Engineering**.

② Preferred Prospective Supervisor

Applicants shall select their preferred prospective supervisor(s) from **Appendix 1, “List of Supervisor Groups and Research Fields, Department of Civil Engineering.”** Up to three faculty members may be selected, in order of preference.

The preferred prospective supervisor(s) shall be submitted online through the **“Online Additional Information Form (Doctoral Program)”** described below.

③ Contact Information of Referee

Applicants shall submit, through the **“Online Additional Information Form (Doctoral Program)”** described below, the **Contact information of a referee who can provide a letter of recommendation** describing the applicant’s research ability. The referee should be a person who has sufficient knowledge of the applicant’s research content and research ability, and need not necessarily be the applicant’s current or former academic supervisor. The method and deadline for submission of the letter of recommendation will be separately communicated to the referee.

④ English Language Test Score Certificate

English language proficiency shall be evaluated based on the “**English Language Test score certificate**” (TOEFL iBT or TOEIC L&R) submitted by the applicant. **The English Language Test score certificate shall be submitted by the date designated by this Department (July 21, 15:00).**

If an applicant uses an **official TOEFL iBT score**, it shall be submitted through the **WEB Application System of the Graduate School of Engineering**. The submission method and submission destination shall follow the “**Guidelines for Applicants, Graduate School of Engineering**” and the “**Guidelines for Submission of TOEFL Scores**” issued by the Graduate School of Engineering. All procedures specified by the Graduate School of Engineering must be completed, including transmission of the official score, registration of the Appointment Number, and upload of the Test Taker Score Report.

If an applicant uses an **official TOEIC L&R score**, the “**URL of the Digital Score Report**” shall be submitted online through the “**Online Additional Information Form (Doctoral Program)**” described below. **Paper-based score reports without an accompanying Digital Score Report shall not be accepted.** Scores from TOEIC IP, TOEIC Bridge, TOEIC S&W, or similar tests shall not be accepted.

Applicants who have completed, or are expected to complete, the Master’s Program of this Graduate School are exempt from the English Language Test.

2.2 Submission Method for Additional Information in the Department of Civil Engineering

In addition to the application and submission of Documents for Submission through the **WEB Application System of the Graduate School of Engineering**, applicants to the Department of Civil Engineering are required to submit online the “**Online Additional Information Form (Doctoral Program)**” designated by the Department. The Online Additional Information Form shall be accessed through the Department of Civil Engineering website.

■ Submission Period for the Online Additional Information Form (Doctoral Program)

May 29 (Fri.) – June 4 (Thu.), 15:00 [Japan Standard Time]

Input and submission must be completed within the above period.

■ Information to be Entered

The following items shall be entered in the Online Additional Information Form:

- **Contact information (email address, etc.)**

This will be used for communications and notifications regarding the examination; therefore, enter information through which you can be reliably contacted.

- **Preferred prospective supervisor**
- **Contact information of referee**
- **URL of the TOEIC L&R Digital Score Report** (if applicable)

Applicants who use an official TOEIC L&R score as the English Language Test score certificate shall enter the URL of the Digital Score Report. Entry of this item is not mandatory at the time of application. A separate form for submitting the URL of the Digital Score Report during the period from after application until July 21, 15:00 will be provided on the Department website.

3. Procedures and Examination Subjects of the Entrance Examination

Admission selection for the Doctoral Program shall be conducted through the **First-stage** and **Second-stage Entrance Examinations**.

In the **First-stage Entrance Examination**, applicants’ fundamental abilities to conduct independent research in the Doctoral Program will be evaluated through the English language test, document screening, and oral examinations. Among the **First-stage Entrance Examination** components conducted in late August, the examination subjects are “**Civil Engineering (Specialty / General)**” and the “**Oral Examination by the Prospective Supervisor.**” For “**English,**” the official score of the English Language Test submitted in advance shall be used.

In the **Second-stage Entrance Examination**, through a “**Research Presentation**”, the concreteness, academic significance, and future potential of the research plan will be comprehensively evaluated. This section describes the procedures and examination subjects of each stage of the Entrance Examination.

3.1 Examination Subjects and Schedule of the First-stage Entrance Examination

First-stage Entrance Examination is held from August 31 – September 2, and the subjects and schedules are as follows.

Examination Subject	Date	Location	Score	Remarks
English	Applicants shall individually register for TOEFL iBT or TOEIC L&R and submit the official score obtained.	—	300	Applicants shall individually register for TOEFL iBT or TOEIC L&R and submit the official score. For details of the submission method, refer to “ 2. Submission of Application Form and Required Documents. ” The English Language Test score will be converted and evaluated out of 300 points in accordance with the method prescribed by the Department.
Civil Engineering (Specialty / General)	August 31 to September 2, 2026 (Mon–Wed), 9:00–18:30. The examination will be conducted within the above period. The interview time will be approximately 30 minutes per applicant.	Hongo Campus, Engineering Bldg. No. 1	2000	“ Civil Engineering ” consists of two components: (Specialty) and (General). In the (Specialty) component, the “ Pre-examination Assignment ” based on papers or other materials from the examination fields shown in Appendix 2 will be required. On the day of the examination, the applicant’s understanding of fundamental knowledge in the selected examination field, understanding of the content of the Pre-examination Assignment, and ability to apply knowledge toward academic research and the resolution of social issues in the field of Civil Engineering will be evaluated. In the (General) component, based on the applicant’s previous research experience and other relevant experience, fundamental knowledge necessary to conduct research in the Doctoral Program, preparedness for research, and ability to formulate research concepts will be evaluated. Questioning will be conducted with reference to the submitted Research Proposal .
Oral Examination by the Prospective Supervisor	August 31 to September 2, 2026 (Mon–Wed). Conducted on a date and time designated by the faculty member within the above period.	Method and location designated by the faculty member	—	The prospective supervisor will conduct an interview based on the Research Proposal and other materials, and comprehensively evaluate the concreteness and feasibility of the research plan in the Doctoral Program, the applicant’s initiative in conducting research, and the suitability of supervision for the proposed research.

Note 1: The examination conducted in late August is the oral examination for “Civil Engineering”; however, the evaluation items for admission selection also include the “English” score submitted in advance in accordance with the prescribed method. Applicants who have completed, or are expected to complete, the Master’s Program of this Graduate School are exempt from the English language test.

Note 2: The oral examination for Civil Engineering will be conducted by designating a reporting time for groups of multiple applicants. The total time required, including the reporting time, may be up to approximately three hours. Details of the reporting time and reporting location will be notified later by email or other means. Except in cases of unforeseen circumstances such as delays in public transportation, late arrival at the designated reporting time will, in principle, not be permitted.

3.2 Pre-examination Assignment for Civil Engineering (Specialty)

Prior to the First-stage Entrance Examination, in “**Civil Engineering (Specialty)**”, one “**Pre-examination Assignment**” will be set for each examination field shown in **Appendix 2**, based on academic papers or other materials related to the respective field. Applicants shall select one from among the papers or other materials and questions presented for each examination field, read the designated paper or materials, prepare responses to the questions provided, and submit them. Either Japanese or English may be used for the Pre-examination Assignment.

The Pre-examination Assignment is scheduled to be distributed around July 24, and the deadline for submission of responses is scheduled around August 3. The specific date of distribution, submission deadline, and submission method will be separately notified through the Department website or other means.

3.3 Procedure on the Day of the First-stage Entrance Examination

In the First-stage Entrance Examination, the oral examination for “**Civil Engineering (Specialty / General)**” will be conducted in sequence, in addition to the “**Oral Examination by the Prospective Supervisor.**”

The oral examination for “**Civil Engineering (Specialty / General)**” shall be conducted in person at the Hongo Campus. Applicants may choose either Japanese or English as the language to be used in the oral examination.

In “**Civil Engineering (Specialty)**”, in addition to evaluating the applicant’s understanding of fundamental knowledge within the scope of the selected examination field, the examination will assess the applicant’s understanding of the content of the paper selected for the Pre-examination Assignment, as well as the ability to apply knowledge toward academic research and the resolution of social issues in the field of Civil Engineering.

In “**Civil Engineering (General)**”, based on the applicant’s previous research experience and other relevant experience, the examination will evaluate the fundamental knowledge necessary to conduct independent research in the Doctoral Program, preparedness for research, and ability to formulate research concepts. Questioning will be conducted with reference to the submitted Research Proposal.

In the “**Oral Examination by the Prospective Supervisor**”, based on the Research Proposal and other materials, an interview will be conducted to comprehensively evaluate the concreteness and feasibility of the research plan in the Doctoral Program, the applicant’s initiative in conducting research, and the suitability of supervision for the proposed research. The date, location, and method of the examination shall be designated by the prospective supervisor.

Applicants must bring the Examination Admission Ticket issued through the WEB Application System of the Graduate School of Engineering.

3.4 Second-stage Entrance Examination (Research Presentation)

In the Second-stage Entrance Examination, academic research ability will be evaluated through a **Research Presentation** and question-and-answer session concerning the applicant’s previous research achievements (such as a Master’s thesis, peer-reviewed academic papers, research reports, etc.) and the research plan for the Doctoral Program. The presentation shall be delivered using slides or other materials and shall be approximately 20 minutes in total, including the question-and-answer session.

The timing of the Second-stage Entrance Examination differs depending on the applicant’s desired enrollment timing and current enrollment status, and shall, in principle, be conducted as follows:

- Applicants who wish to enroll in April and are currently enrolled in a Master’s Program at a university in Japan shall take the examination around January 25-27, 2027.
- Applicants who wish to enroll in October, as well as applicants who wish to enroll in April and who reside overseas or have already completed a Master’s Program, shall take the examination at the same time as the First-stage Entrance Examination.

The detailed schedule and method of implementation of the Second-stage Entrance Examination will be separately notified to the relevant applicants by email or other means.

3.5 Document Screening in the Event of a Large Number of Applicants

If the number of applicants is large, applicants to be invited to the First-stage Entrance Examination may be selected through document screening based on academic records, English Language Test scores, the Pre-examination Assignment for “Civil Engineering (Specialty)”, and other materials. Applicants selected for the oral examinations will be notified by email or other means by mid-August.

4. Announcement of Results and Determination of Academic Supervisor

The final decision of pass or fail in the Entrance Examination will be made comprehensively based on the results of the First-stage and Second-stage Entrance Examinations.

For applicants who take the Second-stage Entrance Examination at the same time as the First-stage Entrance Examination, the announcement of results is scheduled to be made around September 10.

For applicants who take the Second-stage Entrance Examination in late January 2027, the announcement of the results of the First-stage Entrance Examination is scheduled to be made around September 10, and the final announcement of results, including the outcome of the Second-stage Entrance Examination, is scheduled to be made in early February 2027.

The academic supervisor of successful applicants shall, in principle, be determined by the Department of Civil Engineering with priority given to the applicant’s preference, taking into consideration the results of the Entrance Examination and the declared preferred prospective supervisor.

5. Other Important Matters

5.1 Enrollment Timing

In the Department of Civil Engineering, persons who hold a Master's degree, or who are expected to obtain a Master's degree by September 30, 2026, may apply for enrollment in the Doctoral Program in October 2026. Applicants who wish to enroll in October 2026 shall indicate this in the relevant section of the **WEB Application System of the Graduate School of Engineering**.

However, it generally takes approximately three months from the issuance of the Letter of Acceptance to newly obtain a status of residence for international students. Therefore, **applicants who newly require this University to apply for a Certificate of Eligibility for a status of residence for their enrollment are advised, for procedural reasons, to enroll in April 2027.**

In principle, the enrollment timing cannot be changed after application.

5.2 Sample Questions for “Civil Engineering (Specialty)”

For “**Civil Engineering (Specialty)**,” which differs in format from the conventional written examination, sample questions are scheduled to be made available on the Department website so that applicants can gain a concrete understanding of the examination content and the intent of the questions. These sample questions are positioned as reference materials equivalent to past examination questions under the new examination format.

5.3 Websites for Entrance Examination Information

Graduate School of Engineering: <https://www.t.u-tokyo.ac.jp/en/study-at-utokyo/soe/apply>

Department of Civil Engineering: https://www.civil.t.u-tokyo.ac.jp/graduate_school/

(Appendix 1) 2027 List of Faculty Members and Their Fields of Study, Department of Civil Engineering

Group	Basic quota (Max. quota)	Faculty member's name	Field of study
Transportation engineering and planning	5 (13)	Prof. Eiji Hato	Urban planning and transportation engineering
		Prof. Takamasa Iryo	Traffic engineering, Transportation network analysis, Transportation big data
		Prof. Takashi Oguchi (IIS)	Traffic management and control, Traffic flow analysis, Road geometric design, Mobility innovation
		Assoc. Prof. Yozo Hiraiwa (IIS)	Transport policy
		Assoc. Prof. Yuki Oyama	Travel behavior analysis, mobility service design, logistics, urban informatics
Spatial information	5 (14)	Prof. Takashi Fuse	Spatial information engineering, Regional dynamics analysis, Integration of measurement and simulation, Photogrammetry, Image processing, 3D visualization
		Prof. Wataru Takeuchi (IIS)	Remote sensing of environment and disaster, Infrastructure health monitoring
		Prof. Tsuyoshi Ichimura (ERI)	Urban and social simulation, Computational science, Computational earthquake engineering/seismology, Convergence of artificial intelligence and physics-based simulation
		Prof. Yoshihide Sekimoto (CSIS)	Large-scale people flow simulation, Development of three-dimensional urban digital twin, Real-time urban monitoring, Computational socio-informatics
		Prof. Lalith Wijerathne (ERI)	Computational earthquake engineering, simulations of dynamic rupture of faults, crack propagation simulations, large-scale simulations of post-disaster economy
Hydrosphere and environment	8 (31)	Assoc. Prof. Kohei Fujita (ERI)	Large-scale earthquake simulation using Fugaku, Computer science algorithm development for utilizing advanced computer architectures
		Prof. Taikan Oki	Human Geoscience, Water/Climate Change and Sustainable Development, Risk Management on Global Environmental Changes
		Prof. Yoshimitsu Tajima	Coastal hydrodynamics, Coastal protections and beach topography changes, Mitigations and management of flood disaster
		Prof. Takenori Shimozono	Fluid mechanics, Sediment transport and morpho-dynamics, Hydraulic structures
		Prof. Naota Hanasaki (PSR)	Global hydrological modeling incorporating human activities, Climate change impact assessment on water sectors
		Prof. Kei Yoshimura (IIS)	Isotope meteorology, Land surface processes, Dynamical downscaling, Earth system model development, Civilization and climate change
		Prof. Akiyuki Kawasaki (IFI)	Enhancing social resilience through climate adaptation and disaster risk reduction investment, Impact of water disasters on socioeconomic systems
		Proj. Prof. Kazuo Oki (IIS)	Global monitoring for ecology and environment, River basin management with RS and GIS
		Assoc. Prof. Dai Yamazaki (IIS)	Hydrology; global terrestrial hydrodynamics; integration of hydrological modeling and satellite observations; application of data science methods in hydrological modeling
		Assoc. Prof. Yohei Sawada	Hydrometeorological disaster prediction, Simulation-observation integration
		Proj. Assoc. Prof. Masashi Minamide	Meteorology, Data assimilation, Dynamics and numerical predictions of severe weather events
		Assist. Prof. Kanon Kino (IIS)	Paleoclimate dynamics, Climate modeling, Projection of future extreme events and climate adaptation, Land-atmosphere interaction, Meteorology, Polar science
		Proj. Assist. Prof. Le Duc	Data assimilation, numerical weather prediction
Proj. Assist. Prof. Daisuke Tokuda (IIS)	Diasystem hydrometeorology, Land-atmosphere interaction, River-lake water temperature modeling		
Infrastructure technology and design (A)	3 (10)	Prof. Reiko Kuwano (IIS)	Geotechnical engineering, Soil mechanics, Laboratory and in-situ soil test
		Prof. Kenji Watanabe	Geotechnical earthquake engineering, Hydro-geotechnical engineering, Performance-based design
		Prof. Takashi Kiyota (IIS)	Geo-disaster mitigation engineering, Earthquake-induced liquefaction, Earthquake damage survey
		Proj. Assoc. Prof. Hailong Wang	Unsaturated soil, Bentonite, Foam conditioned soil, utilization of CO ₂ fixing materials, cement-free ground improvement technique, Advanced experimental work
Infrastructure technology and design (B)	4 (11)	Prof. Takeshi Ishihara	Wind engineering, Wind energy, Typhoon disaster mitigation, Computational fluid dynamics, Structural dynamics
		Prof. Tomonori Nagayama	Bridge engineering, Structural control and monitoring, Integration of structural and vehicular dynamic models and observation, Structural load
		Assoc. Prof. Di Su	Structural simulation, Dynamics of transportation infrastructures, Reliability design and risk analysis, Optimization design
		Assoc. Prof. Tsukasa Mizutani (IIS)	3D Internal Visualization Technology of Infrastructure, Vibration, Monitoring, Digital Signal Processing, Ground Penetrating Radar, Laser, Electromagnetic Measurement, Next-Generation-Cyber-Infrastructure
		Assist. Prof. Yuka Kikuchi	Wind engineering and structure dynamic analysis, Anomaly detection of wind turbine, Assessment of wind energy cost
Infrastructure technology and design (C)	4 (13)	Prof. Tetsuya Ishida	Multi-scale and multi-physics modeling of concrete, 3D printing of cementitious materials, data-driven and AI-assisted maintenance management of concrete structures, basalt FRP-reinforced concrete structures
		Prof. Toshiharu Kishi (IIS)	Material science of concrete, Durability of RC structures, Self-healing concrete, Fresh property, Rheology
		Assoc. Prof. Yuva Takahashi	Durability mechanics of reinforced concrete structure, Fatigue, Combined Deterioration, Maintenance Management of Load Structures, New Structure with Concrete
		Assoc. Prof. Yuva Sakai (IIS)	Maintenance and nondestructive testing of concrete structures, Sustainable construction materials, Recycling of construction materials, Construction of the moon
		Proj. Assist. Prof. Motohiro Ohno (UCRL)	Cementitious Metamaterials, 3D concrete printing, CCU concrete, fiber reinforced geopolymer
Infrastructure development and management	2 (8)	Prof. Masahide Horita	Infrastructure systems management, Collective decision-making theory, Public procurement, Project delivery systems design
		Proj. Prof. Pang-jo Chun (DFL)	ICT/AI for Infrastructure maintenance, BIM/CIM, i-Construction system studies
		Assist. Prof. Takahiro Suzuki	Social Choice Theory, Game Theory, Public Procurement
		○Assist. Prof. Yu Maemura (GSFS)	Conflict and negotiation, development aid policy and practice, project evaluation, intercultural communication
International project	2 (9)	Prof. Hironori Kato	International transportation studies, Transportation planning, Transportation policy, Transportation economics, Transportation finance
		Prof. Daisuke Fukuda	Behavior and awareness analysis in smart societies, Planning and policies for sustainable development of urban and regional economies, International deployment strategies for smart city/mobility systems
		○Prof. Riki Honda (GSFS)	Social resilience, Social network, Earthquake engineering, Technology transfer, Sustainable management engineering
		○Assist. Prof. So Morikawa (GFGS)	Public administration, Public policy, Participatory and anticipatory governance
		Adjunct members: Prof. Taikan Oki, Prof. Wataru Takeuchi, Prof. Miho Ohara, Prof. Akiyuki Kawasaki	
Design and landscape	1(5)	Prof. Yu Nakai	Civic design, Landscape design, Civil engineering history
Earthquake and disaster mitigation engineering	2 (4)	Prof. Miho Ohara (IIS/III)	Disaster resilience, Disaster risk evaluation, Climate change adaptation measures, Contingency planning and capacity development
		Assoc. Prof. Mune Yoshi Numada (IIS/III)	Disaster Management, Standardization of Disaster Management, Disaster Process Engineering, Training/Educational system

Note 1: ○ represents a concurrent professor. Concurrent professors cooperate in delivering lectures in the Graduate School of Engineering; however, they are not, in principle, responsible for supervising students' dissertations.

Note 2: Principal affiliation of faculty member is as follows: (IIS) Institute of Industrial Science, (ERI) Earthquake Research Institute, (GSFS) Graduate School of Frontier Sciences, (CSIS) Center for Spatial Information Science, (IFI) Institute for Future Initiatives, (III) Graduate School of Interdisciplinary Information Studies, (UCRL) University-Community Relations Laboratory, (DFL) Donated Fund Laboratory, (PSR) Research Unit of Visiting Professor for Specific Research

Note 3: The supervisors in each group will be decided after consultation. The research content is just an example, and the research theme of the student is decided after admission.

(Appendix 2) Examination Fields and Scope of “Civil Engineering (Specialty)”

In the “Pre-examination Assignment” for “Civil Engineering (Specialty),” one assignment will be set for each of the following examination fields, based on papers or other materials related to the respective field. Applicants shall select one from among the papers or other materials and questions presented for each examination field.

In the oral examination for “Civil Engineering (Specialty),” based on the content of the paper or other materials selected for the Pre-examination Assignment and the applicant’s submitted responses, the applicant’s understanding of fundamental knowledge within the scope of the selected examination field, as well as the ability to apply knowledge toward academic research and the resolution of social issues, will be evaluated.

Examination Fields	Scope
Field 1 Transportation Engineering	Transportation planning, transportation policy, travel behavior analysis, transportation and urban economics, traffic assignment, traffic flow, traffic simulation, transportation service design, optimization of logistics and public transportation systems
Field 2 Spatial Information	Geodetic system, error adjustment, ground surveying, Global Navigation Satellite System, photogrammetry, laser surveying, Geographic Information Systems (GIS), computational geometry, spatial data structures, spatiotemporal data processing, spatial data management, observation platforms, remote sensing (optical, thermal infrared, microwave), spectral indices, image analysis
Field 3 Computational Science	Fundamentals of numerical analysis, modeling of phenomena, algorithm design, numerical integration, numerical differentiation, interpolation, eigenvalue problems, expansion of numerical functions (finite difference method, finite element method), equation solving, orthogonality of functions, sparsity
Field 4 Hydraulics	Conservation laws and governing equations, hydrostatics, free-surface flow, surface waves (wind waves, tsunamis, storm surges), flow resistance and energy loss, interaction between waves/flows and structures
Field 5 Hydrology	Distribution of water on the Earth, atmosphere–land surface processes, rainfall–runoff processes, impacts of and adaptation to climate change, water-related disasters, water resources, river basin management
Field 6 Geotechnical Engineering	Soil mechanics (basic properties of soils, consolidation, shear, compaction, permeability, liquefaction), earth structures and foundations (embankments, retaining walls, slope stability, bearing capacity), laboratory soil testing, in-situ testing
Field 7 Structural Engineering	Structural mechanics (mechanics of beams and columns, energy principles, stability and instability problems), fundamentals of continuum mechanics, fundamentals of structural design, reliability-based design, fundamentals of structural dynamics and earthquake engineering
Field 8 Concrete Engineering	Constituent materials of concrete structures, design of concrete, fresh concrete and construction planning, hydration of cementitious materials, early-age properties and durability, properties of hardened concrete, mechanics of concrete structures, maintenance and management of concrete structures
Field 9 Management and International Projects	Construction management (project management, bidding and contract systems, industrial policy, utilization of AI and ICT), fundamentals of game theory, international project studies (economic development and infrastructure development, population migration, international trade and development strategies, overseas investment and foreign aid), fundamentals of empirical analysis and policy analysis
Field 10 Landscape, Civil Engineering Design, and Urban Planning	Concepts of landscape manipulation and fundamental knowledge of landscape analysis, objectives and methods of civil engineering design, specific topics in civil engineering design (civil structures, urban public spaces), urban planning (various systems and techniques), urban history, land-use planning, reconstruction planning
Field 11 Disaster Prevention Engineering	Mechanisms of disaster occurrence, disaster risk assessment, disaster management plan, disaster management system, disaster countermeasures, international disaster management strategies, utilization of disaster information, risk communication

試験場案内(東京大学本郷キャンパス)
 Campus Map for the Examination
 (Hongo campus, the University of Tokyo)

地下鉄利用 Subway

- 本郷三丁目駅(地下鉄丸の内線) 徒歩20分
Hongo-sanchoime Station (Subway Marunouchi Line) 20min.walk
- 本郷三丁目駅(地下鉄大江戸線) 徒歩20分
Hongo-sanchoime Station (Subway Oedo Line) 20min.walk
- 根津駅(地下鉄千代田線) 徒歩15分
Nezu Station (Subway Chiyoda Line) 15min.walk
- 東大前駅(地下鉄南北線) 徒歩10分
Todaimae Station (Subway Namboku Line) 10min.walk

その他のアクセスについては次を参照のこと
 Refer to the following for other accesses

http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map01_02_j.html

